

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024 年 12 月 1 日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
胃癌	■進行・再発 ☐術前補充療法 ■術後補助療法	XELOX療法	21日間	規定無し 術後：8コース	中

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	デキサート パロノセトロン 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 100mL	点滴静注	20分	↓																				
②	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓																				
③	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	10分	↓																				
※	カペシタビン	2000mg/m ² /day	内服	1日2回朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

《注意事項・備考》

- ・制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてアロカリス点滴静注235mg投与を考慮、投与の際はデキサート3.3mgへ減量とする

・Cape用量：BSA<1.36㎡：2400mg/day、1.36㎡≦BSA<1.66㎡：3000mg/day、1.66≦BSA<1.96㎡：3600mg/day、BSA≧1.96㎡：4200mg/day

・Cape服用期間：day1 夕食後～day15 朝食後まで

・HFS予防(Cape)：ヘパリン類似物質クリーム/ローション適宜使用、市販の保湿剤使用も可

・術後補助療法：8コースまで